



教育と技術の未来を創る： ハッカソンチーム

テクノロジーと教育の融合で、学びの未来を一緒に創造しませんか？

京都大学大学院 博士課程 加納泰斗



未来の教育の形を学生と一緒にソウゾウする

1 教育支援の発展

最新テクノロジーを活用した教育支援の可能性を追求します。学生の視点から革新的なアプローチを生み出します。

2 関心の輪を広げる

ハッカソンを通じて、教育テックに興味を持つ学生の輪を広げていきます。多様な専攻の学生が集まることで新しい発想が生まれます。

3 実践的な学び

理論だけでなく、実際に形にするプロセスを重視します。アイデアから実装までの経験ができます。

一般的なハッカソン

1

チーム協力

多様なスキルを持つメンバーで協力します

2

問題解決

社会や身の回りの課題に対する革新的な解決策を考案します

3

短期的なアプリ開発

限られた時間でプログラミングする経験ができます



どういうハッカソンを作る？



学びを俯瞰で捉え直す

学びの当事者意識から離れることで、客観的かつ批判的に学びについて考え直す機会を提供します。



情報学的問題解決

学びの背後にあるメカニズムを分解・整理し、新たなモデルを創造する体験を通して情報学的問題解決能力を伸ばします。



実践的な経験

アイデアだけで終わらせません。実際の教育現場での導入を目指し、学生の社会貢献への意識を高めます。

ハッカソンの作り手になるメリット

人脈形成

同じ志を持つ仲間と出会えます。また、ハッカソンの審査員として招待予定の、企業や教育委員会、大学の方との交流も期待できます。

新時代の学びの共創

ハッカソンは、学生の創造性や協調性を育みつつ、情報学的な問題解決プロセスを経験するのに適した方法です。未来の教育における1つのスタンダードを作る経験ができます。

学生の成長を 間近で見られる喜び

学生の成長が、
一番のやりがいです。

ハッカソンアイデア（例）



つまずき発見・支援ツール

学生が現在進行形で感じているつまずきや困りごとを、システムティックにサポートできるツールを作成します。



学生と教師をつなぐシステム

学生と教師の間のインタラクションをとりもち、両者のつながりを強めるシステムを作成します。



発展的学びの支援AI

生成AIや予測モデル等を活用して、より発展的な学びを創造するシステムを作成します。

これからの展望

1

ハッカソンの実践

学生の興味を促進するコンテンツを作成し、アジャイル的に実践・改善を繰り返していきます。

2

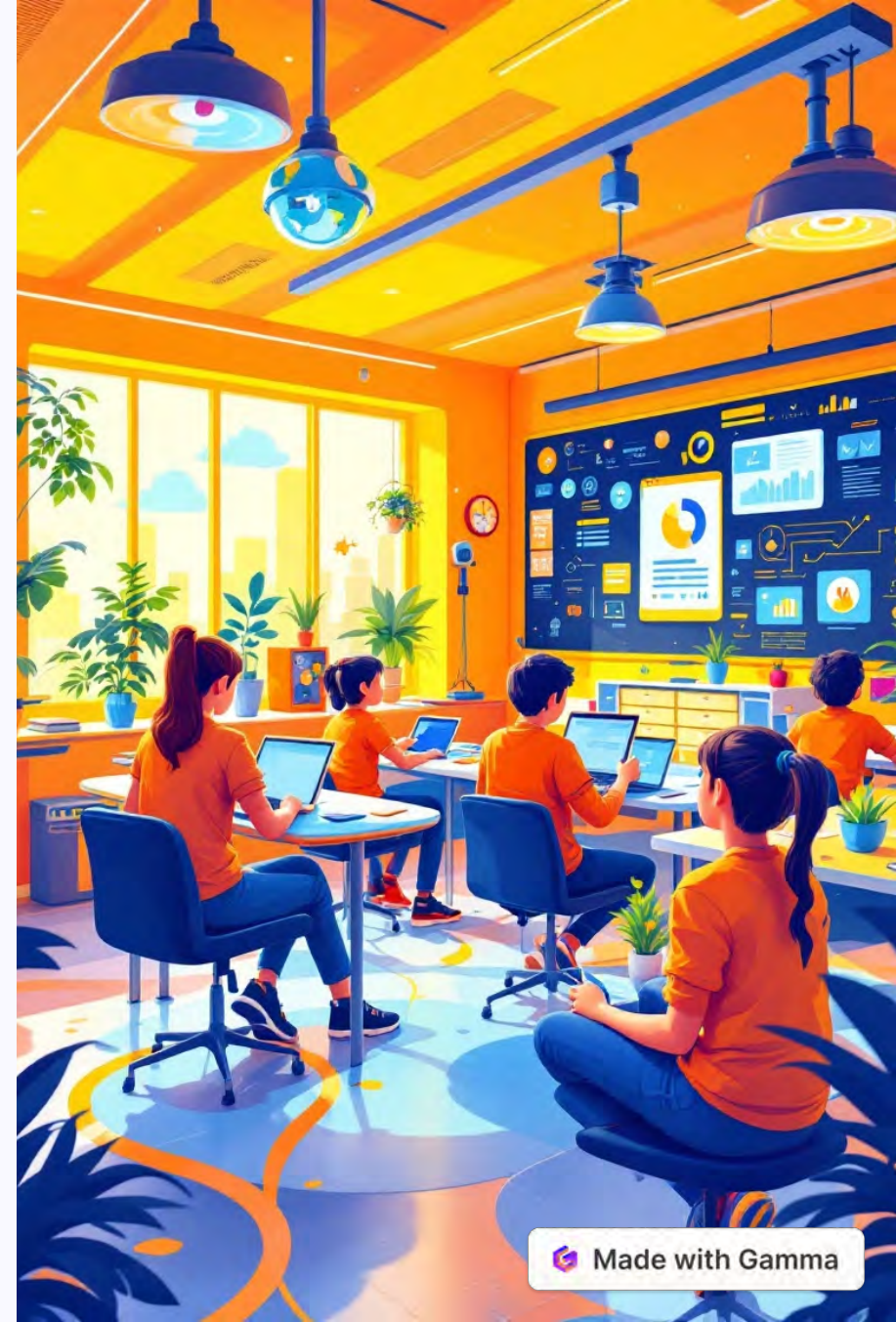
学生参加の拡大

より多くの高校や大学から学生を募集します。多様な視点を取り入れることで革新的なアイデアが生まれます。

3

プロトタイプ版の開発

学生のアイデアをベースにプロトタイプを開発します。自分のアイデアが現実の誰かに使われるという経験が学生の意欲を高めます。



一緒に未来の教育を創りませんか？

ハッカソンチームへの参加方法

公式ウェブサイトから登録できます。事前知識は必要ありません。興味と熱意があれば十分です。

次回ハッカソン

来年度夏から秋にかけての開催を予定しています。実施形式については未定です。

ご興味のある方へ

本日最後のアンケートにてハッカソンにチェックをしてください。